

かんきよう「組写」フォトコンテスト

東日本大震災チャリティー上映会・講演会

ドキュメンタリー映画

上映会 13時30分〜



『ブルー・ゴールド 狙われた水の真実』

2011年

9月4日(日)

会場

あーすぷらざ

講演会

15時20分〜

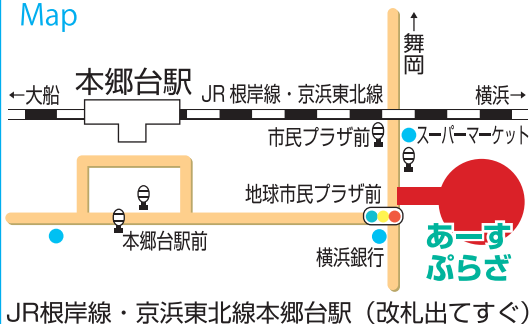
自然界の報道写真家 宮崎 学さんのお話



大震災以来、さまざまな視点から環境への関心が高まっています。私たちは現実をどう知り、環境問題にどう向き合っていけば良いのでしょうか。このたび、チャリティー企画として“水戦争”をテーマとするドキュメンタリーの上映会と、自然界の報道写真家・宮崎学さんによる環境問題に関する講演会をお届けします。未来へのひとつの道しるべとなりますように。



Map



要申込 (先着 120 名様)

定員になり次第しめきり

入場無料

ただし、東日本大震災の復興支援としてお一人500円の寄付をお願い致します

会場 あーす ぷらざ (横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1)

神奈川県立地球市民かながわプラザ 映像ホール

主催 リサイクルデザインタウン映像フェスティバル実行委員会

<http://www.takematsu-design.com/kumisyua/event2011.html>



映画

『ブルー・ゴールド 狙われた水の真実』について

世界中で起きている様々な“水戦争”の現状のドキュメント。“石油戦争”から“水戦争”の時代となった現在、軍の管理による水資源の発掘は、世界規模の“水戦争”の舞台となろうとしている。サム・ボツゾ監督は言う。「この映画を作らねばならないたったひとつの理由がある。(中略)地球温暖化は“どうやって”生きるかの問題だが、水危機は“生きられるかどうか”の問題なのだ。だから、私はこの映画を作った」



講師紹介

宮崎 学さんのプロフィール

1949年長野県生まれ。自然と人間をテーマに社会的視点に立った「自然界の報道写真家」として活動中。1990年「フクロウ」で第9回土門拳賞、1995年「死」で日本写真協会年度賞、「アニマル黙示録」で講談社出版文化賞受賞。他写真集・著書多数。最新刊「となりのツキノワグマ」「カラスのお宅拝見」など発刊中。

●ホームページ 森の365日 <http://www.owlet.net/>

かんきょう「組写」フォトコンテストとは

2010年度にスタートしたこのコンテストは、いくつかの写真の組み合わせ(組写)による「物語性」や情報としてのインパクト、発信性を重視し、環境保護の啓発に効果の高い作品を神奈川県内在住(あるいは在学)の高校生から募集するものです。撮影者のみならず、それを観る人への訴求を狙いとしています。

大震災の発生をうけ、今年度は変則的にチャリティー上映会を実施。来年度は初年度同様【高校生のためのかんきょう「組写」フォトコンテスト】を開催する予定です。

申し込み方法 (6月10日受付開始)

●メール、ファックス、電話にて下記まで

リサイクルデザインタウン映像フェスティバル実行委員会
事務局 武松事業デザイン工房(株)

Mail / office@takematsu-design.com

TEL 045-211-4230 / FAX 045-211-4231

..... FAXの方は ↓ にご記入のうえ送信してください。

お名前	
ご住所	〒
TEL (日中に連絡のつく番号)	